



平成 20 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 6 月 29 日

上場会社名 **タビオ株式会社** (コード番号：2668 大証第 2 部)
 (URL <http://www.tabio.com>)

問 合 せ 先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 越智 直正 TEL：(06) 6708 — 2456
 責任者役職・氏名 取締役財務部長 谷川 繁

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 20 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 19 年 3 月 1 日 ～ 平成 19 年 5 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 2 月期第 1 四半期	3,501	(34.2)	535	(86.7)	556	(82.9)	295	(119.7)
19 年 2 月期第 1 四半期	2,609	(16.0)	286	(75.8)	304	(72.2)	134	(56.4)
(参考)19 年 2 月期	11,578		993		1,072		527	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 2 月期第 1 四半期	44	25	44	08
19 年 2 月期第 1 四半期	20	14		—
(参考)19 年 2 月期	79	17		—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

① 当第 1 四半期における業績

当第 1 四半期の靴下業界におきましては、引き続き中国を始めとする海外からの輸入増勢基調にありましたが、国内販売状況においては、昨年来からの流れを引き継ぎ、足元全体に彩りを添える商品が市場を牽引して参りました。

当グループにおきましては、消費の二極化に伴い、海外生産と国内生産の格差が顕著に現われてきたことにより、製販の一体化と即時対応を目指した国内生産の優位性を存分に発揮することが出来ました。また、足元ファッションの浸透により、靴下の見える範囲が広がったことから品質の高い商品が求められ、当グループの高付加価値商品を追及する物づくりの姿勢がお客様から支持されたことにより、売上高は好調に推移致しました。さらに、立地・客層に合わせた店作り、店舗リニューアルによるブランドイメージの刷新、各種キャンペーン等の実施を充実させたことも当グループの業績に大きく寄与致しました。

なお、当第 1 四半期より連結子会社「協同組合靴下屋共栄会」は当社の 100%子会社となり、当社の所有持分は 22.5%から 100%となっております。この結果、従来の所有持分比べて四半期純利益が 3,573 千円減少しております。また「協同組合靴下屋共栄会」は、平成 19 年 6 月 1 日付にて「タビオ奈良 株式会社」に組織変更しております。

以上の結果、当第 1 四半期の売上高は 3,501 百万円（前年同期比 34.2%増）、営業利益は 535 百万円（前年同期比 86.7%増）、経常利益は 556 百万円（前年同期比 82.9%増）、四半期純利益は 295 百万円（前年同期比 119.7%増）となりました。

② 当グループの業績における季節的変動

当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして第1四半期を含む上半期の売上高と下半期の売上高の間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

また、第1四半期(3月～5月)の売上高は、第2四半期(6月～8月)と比較して相対的に売上高の水準が高くなる期間であります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年2月期第1四半期	6,545	3,396	51.9	509	38
19年2月期第1四半期	5,791	2,850	43.9	381	31
(参考)19年2月期	6,448	3,267	45.9	444	12

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の総資産は6,545百万円となり、前連結会計年度末に比べて97百万円増加しております。

これは、売上高の増加や直営店舗の増加に伴い、売掛金、たな卸資産等の流動資産が55百万円増加したためであります。

○ 添付資料

- ・第1四半期連結貸借対照表
- ・第1四半期連結損益計算書
- ・セグメント情報
- ・仕入及び販売の状況

[参考]

平成20年2月期の連結業績予想(平成19年3月1日～平成20年2月29日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	5,961	474	216
通期	13,933	1,624	874

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 131円09銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期業績の結果を踏まえ、平成19年4月12日の決算発表時に公表した平成20年2月期の中間期および通期業績予想を上記の通り修正致しております。なお、上記業績予想及び修正の理由につきましては、平成19年6月26日付にて公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」も合わせてご参照下さい。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上